

石巻圏域における 新型インフルエンザ対策

危機管理意識の向上と圏域内の 協力体制づくりを目指して

東部保健福祉事務所（石巻保健所）
○技術次長（班長）小原由美子
大友隆幸，裴岩美之，佐藤健太郎

I はじめに

平成30年度の取り組み目的

- 1 経験したことの無い状況をイメージ・考える
⇒起こりうる事態への**理解**
- 2 現状認識・共有で課題の把握と整理
⇒対応準備の**現状を情報共有**
- 3 医療体制の破綻を避けられるように
⇒**役割分担と協力体制づくり**

III 取り組み内容

1 アンケート調査（6月下旬～7月末）

目的：**医療体制の現状把握・準備**

対象：石巻管内の12医療機関



内容：

- ①インフルエンザ診療の**現状**
- ②「帰国者・接触者外来」**設置意向**

III 取り組み内容

アンケート結果：
内容①インフルエンザ診療の現状把握



確保可能な病床数
(6医療機関の合計)

一日あたり必要な病床数

重症度別	病床数
インフル 対応可能	55床
重症患者用	32床

重症度	一日あたり 最大入院 患者数
重度※1	600人
中等度※2	156人

**全然足りない...
現状では限界あり、
厳しい**

※1 重度：スペイン風邪並み、致死率2.0%に仮定
※2 中等度：アジア風邪並み、致死率0.53%に仮定

「石巻圏域新型インフルエンザ等対策会議」

設立：平成29年度

設置根拠：県の行動計画

⇒**発生前の会議設置**，医療体制，整備の推進

目的：関係機関の**連携，情報共有**，総合的に**対策推進**

構成機関：病院，医師会，歯科医師会，薬剤師会，消防，市町等22機関

過去の新型インフル
発生時は大変だった。
病院と打合せして
おきたい。

準備できている・
できていないの**温度差**

課題：各機関の対応準備不足

II 取り組み方法

- 1 医療体制の現状把握・準備
アンケート調査（6月下旬～7月末）
- 2 起こりうる事態への理解
研修会（7/19）
- 3 情報共有と課題検討の場
圏域対策会議（2回：8/24，1/31）
- 4 意見交換で理解促進・対応準備に取り組む
圏域（机上）訓練（10/18）

III 取り組み内容

アンケート結果：
内容①インフルエンザ診療の現状把握



季節性インフルエンザにおける
入院加療の可否 N=12

回答	数
可能	6
検討課題	1
不可能	5

左記「可能」と回答6か所のうち、
重症患者の受入可否

回答	数
可能	3
不可能	3

**受入可能は6か所と半数，
うち，重症患者の受入可能は
3か所とさらに半数**

少ない！

III 取り組み内容

アンケート結果：内容②

感染症指定医療機関
の機能温存のため、
他の病院も頑張って
ほしい

「帰国者・接触者外来」**設置意向**

回答内容	回答数
設置可能	1
前向きに検討	3
設置は困難	4
検討できていない，他	4

専門知識が
ない

マンパワー不足

建物の構造上，動線が
分けられない

でもやらねばならない

2 研修会 (7/19)



目的：起こりうる事態への理解

- ・内容 「日本の感染症危機管理の課題」
- ・講師 東北大学大学院 医学系研究科微生物学分野 押谷仁教授

いつ起きてもおかしくない

最悪の状況を想定すべき。思考停止に陥るな。搬送訓練だけでは不十分。

結果：危機意識を刺激

起きてからでは遅い！

国内発生～感染早期 一般医療機関向けシナリオ

医療1-3

- ・10月1日午前9時、外来の看護師から新型インフルエンザが強く疑われるDさん（30代男性、石巻市在住）が一般外来を受診中であると連絡があった。
- ・Dさんは本日から39℃代の発熱と咳を訴えている。問診したところ、X国から帰国した人と9月29日に接触していたことが判明した。

ポイント：①考えるための厳しい設定。
②各々が何をすべきかを問いかけ。

問いかけ

- ・このフェーズにおける貴機関の役割は何でしょうか？
- ・どのような影響が予測され、どのような対策、準備が必要ですか？

訓練で抽出された課題

- ① 感染者と非感染者の振り分け（外来・入院）
- ② 透析，精神，小児，産科の分野ごとの役割分担
- ③ ベッド数が足りない
- ④ 調整はどこが行う？
- ⑤ 診療所との連携体制



⇒医療体制づくり
二次医療圏，全県の調整

訓練アンケート結果

訓練目的①：参加者同士の意見・情報交換により、感染拡大防止に必要な対応等を理解促進を図る

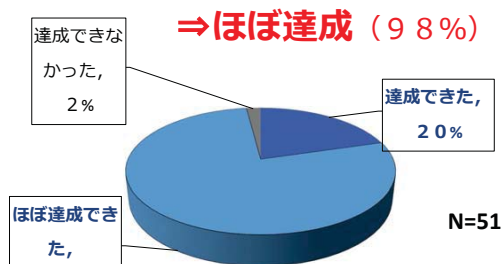


図1 訓練目的①は達成できたか

4 圏域訓練 (10/18)

- 目的①：意見・情報交換により、必要な対応等の理解促進
- 目的②：訓練内容を持ち帰り、各機関で対応検討を進める

i) 事前準備 シナリオ作成 (16枚)

- ・発生3段階ごと
 - ①国内発生～県内感染早期
 - ②県内感染期
 - ③爆発的に感染拡大
- ・機関ごと
 - ①機関共通
 - ②医療機関向け
 - ③行政等向け



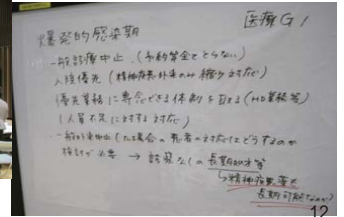
ii) 事前課題の付与

- ・訓練目的を明確化
- ・課題に取り組み持ち寄る

圏域訓練の実施

- ・参加者20機関60名
- ・医療、行政等6グループでグループワーク

新型インフルは感染症の中でもリスクが大きい！



訓練で抽出された課題

- ⑥ 遠隔診療，臨時医療施設の開設，薬剤処方 ⇒流行時の臨時の医療体制
- ⑦ 重症者搬送 ⇒消防との協議
- ⑧ 各機関の準備・体制づくり ⇒診療継続計画・業務継続計画（BCP）の作成・見直し，マニュアル作成

熱心に考え、意見が出された



訓練アンケート結果その他

- ・シナリオはどうだったか
⇒取り組むべき課題が理解できた47%，起こり得る状況が理解できた27%

回答者の7割には役に立った

- ・事前課題に取り組みめたか
⇒88%が取り組んで参加（組織として42%，参加者で46%）

組織として取り組んだのは、半分弱と少なかった。

グループワークでは議論が深まった

アイデアが得られた

訓練を続けてほしい



訓練目的②：訓練内容を持ち帰り、各機関で対応検討を進める

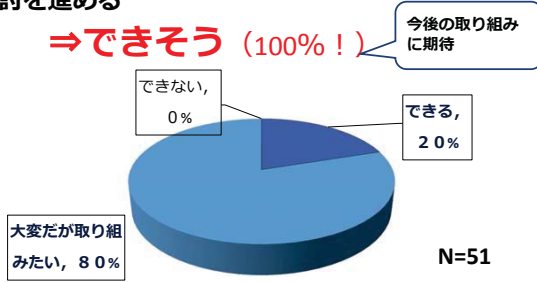


図2 訓練目的②は達成できそうか

・今年度の取り組み目的：

- ① 起こりうる事態の理解
⇒深まり、**危機意識の向上**につながった
- ② 対応準備の現状を情報共有
⇒GWにより、**現状と課題を話し合えた**
- ③ 互いの役割分担と協力体制づくり
⇒現医療体制を踏まえ**協力体制づくりへ**。

新たな課題が見つかったので、
取り組みの継続が必要

Ⅴ おわりに

次年度に向けて

- ・ **医療体制づくりの検討**
「帰国者・接触者外来」の設置準備、医療調整機能の検討
- ・ **BCP等の作成・見直しを支援**
(研修会等)
- ・ **市町の体制、準備状況の確認**
- ・ **地方対策本部** (地方振興事務所)との連携
- ・ **訓練の継続**

危機意識を保ちつつ

保健所も職員全体研修・課題へ取り組み・訓練参加。BCPにも着手。職員研修を継続したい。

など

全県として必要だが、石巻圏域として取り組む

組織として継続できるように

